



林業女子 INTERVIEW

十日町地域森林組合

吉井エリ

Yoshii Eri



林業は未来に続く仕事。
未来の人たちのために
良いものを残したい

1976年、長野県生まれ
十日町市在住
林業経験16年3ヶ月

— 林業に興味を持ったきっかけは？

山に興味があつて新潟大学在学時は森林科学を専攻し、「花粉の出ないスギ」の研究をしていました。もつと林業について知りたいと思ひ、家があつた十日町市で林業の仕事を探しました。現場に出たいので森林技術員を志望しました。

— どんな仕事を体験しましたか？

測量、地拵え、植栽、下刈、除伐、間伐、選木など、木を育てる一通りの仕事や写真管理なども経験しました。

— 現在、担当している仕事は？

森林整備の現場の段取り係。お客様と打合せ、現場を見て、見積書作成。間

伐であれば、施業

地の測量、林況調査や伐る木の選定。技術員の案内や写真撮影、完成書類の作成。開始から完了までの仕事です。森林技術員として現場仕事を一通り経験して良かったです。

— 林業の仕事の魅力は？

現場の人たちの技術や整備した後の山の景色など、林業人のカッコいい姿、素晴らしさを間近で感じられること。毎日、山の中にいられることも心地良い。私は、物語が好きで本を読むのも好きですが、林業の現場には、昔の人が植えた木があつて植えた人の物語を想像し、



専用の「輪尺(りんじゃく)」を使い、木の直径を計る吉井さん。木の高さと太さを測定し材積を出す。間伐前に対象となる木を選木し、伐る木は黄色いテープを巻く



林業女子 INTERVIEW

村上市森林組合

斎藤啓子

Saitou Keiko



林業の仕事の魅力は
地元の人たちに
喜んでもらえること

1967年、旧山北町生まれ
村上市在住
林業経験34年

村上市の大毎(おおごと)集落の利用間伐で伐採された木を集積する、村上市内の土場(どば)で丸太の検知作業を行う斎藤さん。丸太の断面の直径を計り、チョークで書き込む



— 山形県との県境に位置する、旧山北町山熊田生まれなんです。

はい。熊狩りや炭焼きが盛んな山熊田集落で生まれ、亡くなった父も祖父も山仕事や狩猟をしていました。子どもの頃は二人が山で狩った動物を家で解体しているのを見ていました。新割りの手伝いもしました(笑)。「獲物や山菜、きのこ。山にはたくさん恵がある。山は大切な宝物」と祖父が話していたことを覚えています。

— 林業の仕事に就いた理由は？

旧山北町役場で働いていたときに村上市森林組合からお誘いがあり、山の仕事に興味があつたので入社しました。

— 現在、担当している仕事は？

事務専門として入社しましたが、昔はたくさんの方が現場で作業をしていたこともあり、だんだん測量等の現場の手伝いをするようになりました。測量といつてもデジタル化が進んだ現在とは違い、図面を引いて、設計図を描きました。現在は、事務のほか測量や検知を行うつており、データ管理も担当しています。実際に現場に出て、作業の全体の流れを理解した経験が、現場作業のための細かい資料づくりに活かされています。

ます。

— 林業の魅力は？

間伐した木が高く売れば、地元の人主さんに還元することができる。地元の方々に喜んでもらえることが一番です。山も整備されるので、今後も積極的に山主さんに間伐を提案していきたいです。

— 林業に興味を持つ女性にアドバイスをお願いします。

女性ができる仕事がたくさんあります。森林作業員としても活躍できます。父の仕事に誇りに思っているの、私が山の仕事を続けていることを父も喜んでいてと思います。

事業体 Data

村上市森林組合

- 住所/村上市府屋121-2 ●電話/0254-77-3121
- 設立/昭和49年 ●出資金/80,297千円
- 従業員数/23人(森林部門11人)
- 勤務時間/8:00~17:00 ●主な勤務地/村上市
- 主な従事業務内容/森林整備、木材加工



事業体 Data

十日町地域森林組合

- 住所/十日町市大黒沢1789-1
- 電話/025-758-3115
- 設立/平成16年 ●出資金/149,803千円
- 従業員数/43人(森林技術員13人)
- 勤務時間/7:45~17:00 ●主な勤務地/十日町市
- 主な従事業務内容/森林整備、林産販売、食品加工

